



環境調和型産業論分野

Environmentally-Friendly Industries for Sustainable Development

地球親和型の技術開発およびその展開

<http://enfitwww.env.kyoto-u.ac.jp/>

研究室の特徴

⇒ 現場主義の調査・実験とモデル化解析による
実用的・実践的な研究

⇒ 各種プロジェクトへの積極的な参加

科研費(アジア水衛生環境改善)、環境省(有機フッ素化合物類)、
国土交通省(土壌植生浄化)

⇒ 教育・研究の国際化

海外学生(ベトナム1、タイ1、中国2、マレーシア1、タンザニア1、ミャンマー1)
学生の海外インターン(ベトナム、タイ、バングラデシュ、ネパール、アメリカ他)
各種海外プロジェクト(JSPS、イノベータ、JGP)
海外拠点・協力大学(ベトナム・ハノイ理工科大学内フィールドキャンパス、
タイ・マヒドン大、ベトナム・ダナン工科大、ベトナム・フエ科学大学ほか)



Research Topics

➔ 微量汚染物質(有機フッ素化合物等)

前駆体を含めた包括的管理方法の開発(LC-MS/MS、GC-MS/MS、AOX)
処理法(物理(膜分離・吸着)、酸化(AOP、UV他))の検討
アジアメガシティの水環境中の動態解析とマイクロプラスチック調査

➔ 流域管理

国内および海外における抽水植物群落およびマングローブ林の保全
携帯型GPS植生調査の展開によるアジア重要湿地の植物多様性評価モデルの開発
衛星データを活用した流域管理分布型水質水量モデルの開発
琵琶湖水質管理データベースシステムの開発

➔ 途上国衛生環境改善

途上国の下水管理の実態把握とその改善シナリオ作成
セプティックタンク管理、し尿系汚泥処理、適正技術型トイレ開発・評価
スラム衛生リスク評価、N・P循環および汚濁負荷解析



Member & After Graduation

⇒ 教員 4名

教授	藤井 滋穂
准教授	田中 周平
助教	原田 英典
特定助教	鈴木 裕識

⇒ 事務補佐員・技術補佐員 2名

(2016年4月現在)

⇒ 学生 19+?名

博士課程 D3: 1名 D2: 1名 D1: 1名 (学舎)
4年: 1名 (総合生存学館)

修士課程 M2: 2名 M1: 4名 (学舎)
M2: 2名 M1: 5名 (工学研究科都市環境工学専攻)

学部 5年: 2名 (工学部地球工学科環境工学コース)
4年: ?名 (工学部地球工学科環境工学コース)

— 卒修生の最近の進路 —

⇒ 2015年度

環境省, みずほ情報総研, 三菱UFJ R&C, クボタ, TSP, 建設技研インター, 月島機械

⇒ 2014年度

鹿島, クボタ, 積水化学, 日本工営, 日本触媒, 日水コン, Delft大学大学院

⇒ 2013年度

国土交通省, 丸紅商事, 水ing, コカコーラウエスト, JETRO

⇒ 2012年度

国土交通省, 水ing, オリエンタルコンサルタンツ, LIXIL, 東邦ガス, 関西熱化学, 神鋼ソリューション, 豊田通商